

伝えたい、私たちの思い――

南会津町青少年の主張大会



南会津町青少年の主張大会

小学生の部

審査結果	氏名	学校名	学年	テーマ
最優秀賞	佐藤 果歩	田島小学校	6年	夢を持つことと…
優秀賞	本名 未波	南郷小学校	6年	自分らしく
	渡邊 環奈	荒海小学校	6年	優しくよりそう
	星 ひなた	田島第二小学校	6年	AIに負けない！
奨励賞	湯田ひなた	舘岩小学校	6年	わたしの未来
	佐藤 翼	桧沢小学校	6年	男子一人物語

中学生の部

審査結果	氏名	学校名	学年	テーマ
最優秀賞	関根 和咲	田島中学校	3年	日本の食文化を守るために
優秀賞	星 希子	舘岩中学校	3年	熱中できるものと出会って
	湯田 天道	田島中学校	3年	地域のスキー場を守りたい
	星 紀怜	南会津中学校	3年	南会津に生きる
奨励賞	山田 紘平	荒海中学校	3年	共生
	湯田妃茉莉	荒海中学校	3年	二年前の自分と今の自分
	赤羽 瑞希	舘岩中学校	2年	親友とこれからも

高校生・青年の部

審査結果	氏名	学校名	学年	テーマ
最優秀賞	湯田ほの美	南会津高等学校	3年	子どもたちの笑顔
優秀賞	橋本 瑞玲	南会津高等学校	2年	いのちの音
奨励賞	高橋 大	南会津高等学校	2年	高校生活一人旅？
	阿久津日陽	南会津高等学校	3年	私の小さな自慢

令和7年度南会津町青少年の主張大会を7月6日、御蔵入交流館文化ホールで開催しました。町内の小・中・高校から計135名の応募があり、学校推薦による17人が発表会に出場しました。

出場した17人の主張の題名をここで紹介するとともに、各部門で最優秀賞に輝いた3つの主張を、原文のまま掲載します。

また、幕間には、舘岩地域で活動している「紅歌舞」の皆さんによる、よさこいが披露されました。



【問合せ】 生涯学習課 生涯学習係 電話 0241-62-5511

「多くの人たちに夢をもつことの素晴らしさを知ってほしい。」これが私の最も伝えたいことです。

そんな私には「学校の先生になる」夢があります。私がこの夢を抱き始めたのは小学校一年生の時です。はじめは単に「美味しい給食を毎日食べたい」という一生らしいかわいい理由からスタートした夢でしたが、担任の先生や父親を見て身近な職業であることから、今ではたくさんの方に気付くことができている。そのひとつとして、「子供たちの日々の成長に関わることができるとい魅力があります。」

さて、みなさんは夢がありますか。今の時代、夢をもたない、もてない人が多いように感じます。私たちの学校では「がんばるぞうさん」「負けないぞうさん」

「見つけるぞうさん」の三匹のぞうさんをキーワードに生活しています。そして、もう一つ「魔法のランプ」が校長室にはあります。このランプは私たちの夢を叶えてくれるランプです。しかし、夢をもっていないとランプの精も叶えることができません。まずは一人一人が自分の夢をもつことから取り組んでいます。

その時参考にしたのが、今大リーグで大活躍している大谷翔平選手が使用していた夢実現の「大谷マンガラート」です。大リーグの選手になるために「運」をつけないければならないと考え「ゴミを拾う」という小さなことから取り組み始めました。

私は自分の夢の実現のために、何から取り組めばよいか考えました。毎日できること、私は多くの人に「挨拶」をすることにし

した。朝、家族に、学校で友達に、登下校時に地域の方に元気な挨拶することをはかりました。その結果、どちらかというと消極的で、自分から行動することがほとんどなかった私が、ちょっとずつですが、積極的になり、授業中の挙手や発表も多くなりました。そうすると授業が楽しくなり、新しいことを覚えることもより楽しくなりました。「成長したなあ」と自分でも実感できました。あわせて、周りの変化に「気づく目」も育ち、周りを見ながら行動する力も高まってきました。

このように、私は夢をもつことで成長することができています。また、夢があることで将来に大きな希望をもつことができ、日々の生活がとても充実したものになっています。

しかし、もつだけでは駄目だと今は考えています。夢を目標にして、今自分ができるどんな小さなことでも取り組んでいくことが大切だと考えています。大谷選手のように自分の夢を実現できるように、今自分がやらなければいけないことは何か考え、日々取り組んでいきたいです。

みなさんも、夢をもち、今でき

ることにチャレンジしていきましよう。



田島小学校6年
佐藤 果歩 さん



田島中学校3年
関根 和咲 さん

皆さんは米農家の時給がいく
らなのか、ご存じですか。アル
バイトの平均時給が一二〇〇円
と言われているのに対し、米農
家の平均時給は一〇円と言われ
ています。たった一〇円。なぜ
私達の主食である米作りに携わ
る人の時給がこんなにも安いの
でしょうか。

私の母の実家は米農家を営ん
でいます。毎年、種まき、田植え、
稲刈りの手伝いに行くことが、
我が家の恒例となっていますが、
実際にやってみると腰は痛くな
るし、暑いし、疲れも相当なもの。
こんなに大変な仕事なのに、時
給に換算すると一〇円というの
は、納得できませんでした。最
近は米不足で米の値段が上がリ、
正直、やっと生産者が報われる
と思ったのですが、消費者から
は不満の声ばかり。その不満を

解消すべく、政府は備蓄米の放
出に踏み切りました。お米の価
格も少しずつ以前の価格に戻っ
てきています。消費者目線で考
えれば、よいことなのかもしれ
ませんが、生産者側の問題は解
消されないままです。祖父の米
作りを手伝う叔父の話では、米
作りには様々なお金がかかるそ
うです。一台数百万円もするよ
うな機械、そのメンテナンス代、
土や肥料、苗も購入しなければ
なりません。それらの必要経費
の補助があれば、農業に関わる
人たちも安心して仕事に専念で
きると言っていました。正直、
今の若者にとって「農業」は仕
事がきつくて、面倒で、それな
のに給料は安いというイメージ
が根付いています。だからこそ
叔父の言うような農家を支える
働きかけがあれば、「大変だけど、

農業をやってみよう」という若
者が増えてくると思うのです。
「二粒のお米には七人の神様が
宿る」という話を聞いたことは
ありませんか。一つ目は苗が育
つために必要な豊かな水、二つ
目は栄養をたっぷり含んだ土、
三つ目は稲の受粉を助ける風、
四つ目は生長に欠かせない太陽、
五つ目は強い日差しをほどよく
遮る雲、六つ目は稲の害虫を食
べる益虫のこと。そして最後の
七つ目が人です。米という漢字
が、お米を作るまでに八十八の
手間がかかるということが語源
になっているように、農家は天
候や稲の健康状態に常に気を配
り、雨の日も風の日も炎天下で
も労を惜しまず働いています。
人間にしかできない営みだと思
います。お米は様々な神様と自
然の助けを得て、作り手が丹精
込めて作り上げたものです。お
米の値段を口論するだけでなく、
その影にある米農家の日々の苦
労についても関心を寄せてほし
いと思うのです。

先日、日本酒の品質を競う全
国新酒鑑評会で福島県産の日本
酒が日本一になったというニュ
ースを耳にしました。酒造りに

欠かせないのもお米と水だそう
です。南会津のお酒が有名なの
も、自然がはぐくんだ水、そし
てその土台には米農家が大切に
育ててきたお米があつてのこと
だと思います。自然豊かな南会
津を活性化させるためには、地
域が誇るおいしいお米や農産物
をもっとPRしていく必要がある
と考えます。それと同時に、
生産者が安心して働けるよう環
境を整えていくことが大切だと
思います。そうすることで、最近、
問題視されている後継者不足に
も歯止めがかけられるのではな
いでしょうか。

私は祖父が作ったお米で炊い
たご飯が一番おいしいと思っ
ています。そのお米をたくさん
人にずっと食べ続けてほしいで
す。今は、米不足によるお米の
高騰を防ぐことが早急なのかも
しれませんが、それが落ち着い
たら、改めて日本の米作りにつ
いてみんなでしっかりと考えて
いかなければ、日本の食文化は
衰退してしまうでしょう。私達
の「食文化」を守るのは、これ
から生きる私達の義務である
と、私は思うのです。

私は、子どもたちの笑顔が大好
きです。子どもたちの笑顔は私に
元気をくれるし、幸せな気持ちに
もしてくれます。私は将来、未来
の子ども達の笑顔を作り出すこと
ができる保育士になりたいと思っ
ています。

「親の感情と子どもの心は繋が
っている」というニュースを見ま
した。子どもの成長は親の行動や
表情から大きな影響を受けること
を知りました。親が楽しいという
感情のときには、子どもたちも楽
しくなり笑顔になります。反対に、
親がストレスを感じ、心が疲労し
ている感情の時には、子どもが体
調を崩してしまうなど、子どもは
親の心を映し出しているようで
す。子どもが夜泣きなどで泣き止
まないときに親がイライラしてい
ると、その感情が子どもに伝わり
泣き声が大きくなり、泣き止まな
くなるなどの影響がでます。その
ため、親が感情をコントロールし、
明るく笑顔で接していると子ども

は安心し、安定した精神状態で成
長していくと思います。笑顔で生
活できるようにするには親が笑顔
で楽しく生活することが理想だと
思いました。しかし、現実には理想
通りにはいかない家庭もあると思
います。親も人間です。笑顔にな
れないときは頼れる人に頼ってい
いと思います。親が誰かに相談で
き、頼れる人が近くにいるような
環境になればいいと思います。南
会津町は子育て相談窓口として
「えがおふらす」が設置されてい
るそうです。南会津町として南会
津の人たちが子どもや子育てをし
ている親を暖かく優しくみんな
で守ってあげる。地域全体で子ど
もを守る環境になればいいと思
います。

このニュースを見て、私は保育
士になったら子どものことだけで
はなく親の悩みも聞ける保育士に
なろうと思いました。そのため
は、コミュニケーションをとれる
ようにすることが大切だと思いま

した。高校に入り、様々なボラン
ティアなどに参加し、たくさんの方
とお話をしました。そのことで、
初めて会う人とも緊張せずに話す
ことができるようになりました。
親の話聞き、悩みや心配事を解
決できるように、保育の知識だけ
でなく社会福祉などの知識もたく
さん学びたいと思います。

他にも、子どもたちが笑顔にな
れる方法はたくさんあると思いま
す。例えば、体を動かすことで笑
顔になると思います。ボランティ
ア活動で保育所に行った際、子ど
もたちは絵を描くときは真剣に色
を選んで友達と描いていました
が、水遊びやおもちゃ遊び、室内
での遊びに切り替わった時、とび
つきの笑顔で遊んでいたのが印
象に残っています。大きな声で友
達と楽しく遊んでいる姿は周りの
大人を笑顔にしてくれます。この
ように、子どもたちにとって体を
使って遊ぶことが笑顔になれる方
法のひとつだと思っています。

今の子どもたちは昔と比べると
外で遊ぶ機会が減っていると感じ
ました。そのため、子どもたちの
運動能力が低下しています。室内
でインターネットに触れるより、
自然の中で遊ぶ楽しさを知っても
らいたいと思います。例えば、南
会津町の特徴である自然の中での
体を使った遊びなど、自然に触れ
ることで、様々な音や匂い、触感、
光、そして季節の変化を感じるこ
とができ、五感が刺激され、脳の
発達が促され、健やかな成長に繋

がると考えています。南会津町で
は外で遊ぶイベントや南会津町の
木で作られたおもちゃで遊べる施
設があることを、町内の人だけで
はなく他の地域の方にも知って
もらいたいと思います。また、田島
高校と旧南会津高校が統合したこ
とで旧南郷校舎が使われなくなっ
ています。使われなくなった校舎
を利用して子どもたちの遊び場を
作るのはどうでしょうか。広い校
庭もあり、体育館では大きい遊具
を設置することができ、子どもた
ちの笑顔をとたくさん作れるので
ないでしょうか。

私は、保育士になったら、笑顔
で子どもたちに接し、子どもたち
の笑顔で溢れるクラスにしたいで
す。子どもたちの最大の笑顔を引き
出せるような保育をしたいで
す。そして、子どもも親も笑顔で
過ごせるようにサポートができる
保育士を目指したいです。

幼少期は子どもたちにとって、
将来の生活習慣の基礎を作る時期
です。幼少期の笑顔は子供の心身
の発達にとって非常に重要な要素
であり、この時期に笑顔をとくさ
ん見せることで、豊かな情緒と感
情の基盤となる脳神経回路が育ち
ます。また、親の笑顔は子供の安
心感や自己肯定感の向上に繋が
ります。子どもが笑顔で生活できる
ようにするためには、楽しく遊ぶ
ことやおいしいものを食べること
も大切ですが、一番重要なことは、
身近にいる親や家族、保育士が笑
顔でいることだと私は思います。



南会津高等学校3年
湯田 みの美 さん